

2018年3月期（第8期）株主通信

株式会社ジーニー（東証マザーズ：6562）

GENIEE NEWS & TOPICS

1 2017年12月18日、東証マザーズ市場へ新規上場



ジーニーは、おかげさまで東証マザーズ市場へ新規上場いたしました。これもひとえに、ご支援くださるステークホルダーのみなさまのおかげと、心より感謝申し上げます。

私たちは、上場をスタート地点と捉え、アジアNo.1を目指し邁進してまいります。

2 新ミッションを「テクノロジーで新しい価値を創造し、クライアントの成功を共に創る」に改定

当社の事業領域は、アドテクノロジー（広告技術）に留まらず、マーケティングテクノロジー全体へ拡大しています。そこで、創業時からのミッション「アドテクノロジーで世界を変える」から、新たなミッションとして「テ

クノロジーで新しい価値を創造し、クライアントの成功を共に創る」に改定しました。私たちは、日本発のテクノロジーカンパニーとして、アジア企業のマーケティング活動に革新をもたらしてまいります。

3 中小企業向けCRM（顧客管理）/SFA（営業管理）システム「ちきゅう」を会社分割にて事業承継（2018年4月25日公表、6月14日効力発生）



当社が独自開発したマーケティングオートメーション「MAJIN」と「ちきゅう」を連携させることで、顧客属性や商談履歴等のデータを活用した、より戦略的で効率的なマーケティング活動ができるようになります。

社長インタビュー

テクノロジーで新しい価値を創造し クライアントの成功を共に創る



代表取締役社長 工藤 智昭

Q. ジーニーは何をしている会社ですか？

当社では、ウェブサイトやスマートフォンアプリ上に、利用者の属性や興味関心等に合った広告を瞬時に選択し表示させる技術を使って、媒体社や広告主の広告収益・効果を最大化させるプラットフォームを開発・ご提供しています。

また、AI（人工知能）技術やビッグデータを活用し、企業のマーケティング活動を自動化させ、効率的に潜在顧客の集客や購買意欲等の向上、購買・契約等を実現するプラットフォームも開発・提供しています。

Q. ジーニーの強みは何ですか？

当社の強みは、高度な技術力と事業推進力であると考えています。私たちは、これらを活かし、創業以来、国内屈指の高い収益成長を実現してきました。

当社では、国内シェアNo.1の媒体社向け広告配信プラットフォーム「GenieeSSP」をはじめ全てのプロダクトをシステム基盤から内製で開発しています。1日約15

テラバイトもの膨大なデータを超高速で処理し、AI技術等を使って広告配信の精度向上や自動化の促進等に取り組んでいます。

また、Google社やソフトバンク社をはじめ、国内外の有力企業と多数連携し、新サービスの開発や提供を積極的に推進しています。

Q. 中長期の成長戦略を教えてください。

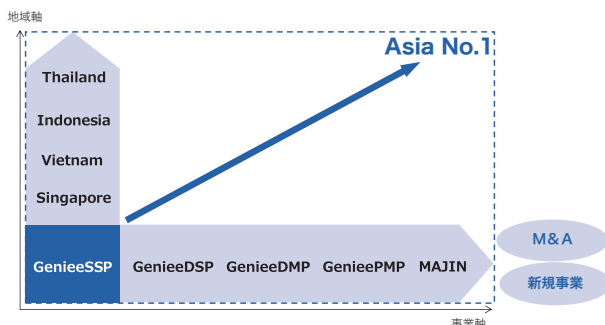
当社では、国内シェアNo.1の「GenieeSSP」が持つ膨大なデータや顧客基盤、広告運用ノウハウを活かし、「GenieeDSP」や「MAJIN」等の市場シェア拡大を図るとともに、最先端の技術で新規事業の開発にも取り組ん

でまいります。

さらに、成長著しいアジア地域において、既存拠点のあるシンガポール、ベトナム、インドネシア、タイに加え、新たな国々へ積極的に事業展開し、アジアNo.1を目指します。

アドテクノロジーからマーケティングテクノロジーへ、国内からアジア、そして世界へ。ジーニーは、日本発の世界的なテクノロジー企業となるべく、努力してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご支援ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

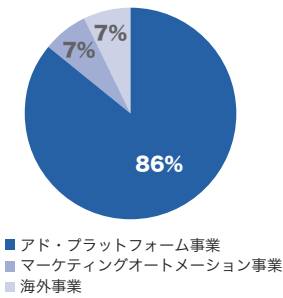


2018年3月期決算のポイント

1 前期比で大幅増益を達成

売上高	14,380百万円	(前期比 22.6%増)
営業利益	527百万円	(前期比 104.8%増)
経常利益	467百万円	(前期比 140.2%増)
当期純利益	63百万円	(前期は△14百万円)

事業別売上高比率



・アド・プラットフォーム事業

主力の「GenieeSSP」にて、大型案件の受注が好調だったことやOEM (Original Equipment Manufacturerの略で、他社(委託者)ブランドのSSPやDSP等を開発提供すること) 案件の増加により、順

調に増加しました「GenieeDSP」でも新規代理店の獲得が進みました。この結果、事業売上は12,634百万円(前期比17.0%増)となりました。

・マーケティングオートメーション事業

マーケティングオートメーション「MAJIN」にて、AI技術等を活用した機能追加等を行ったほか、お客さま向けセミナーの開催等を積極的に行ったこと等から、導

入企業社数が累計750社超へ増加しました。この結果、事業売上は1,076百万円(前期比95.7%増)となりました。

・海外事業

2017年8月、タイに新拠点を設立しました。既存拠点では、インドネシアにて、大型案件やキャンペーン案件の受注が好調だったこと、ベトナムで大手媒体との取

り組みが進んだこと等から、事業売上は、1,039百万円(前期比27.6%増)となりました。

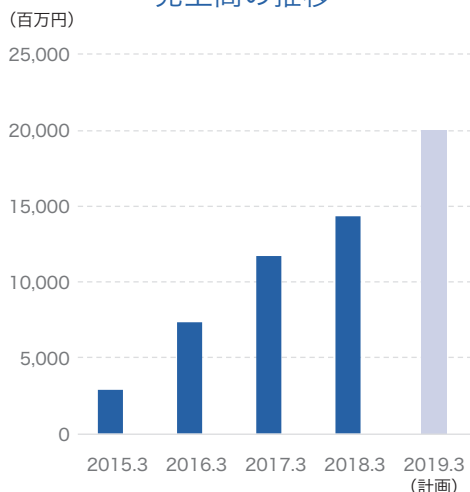
2 2019年3月期も高い収益成長を展望

売上高	20,054百万円	(前期比 39.4%増)
営業利益	729百万円	(前期比 38.2%増)
経常利益	712百万円	(前期比 52.5%増)
当期純利益	505百万円	(前期比 699.3%増)
EBITDA	1,135百万円	(前期比 45.0%増)

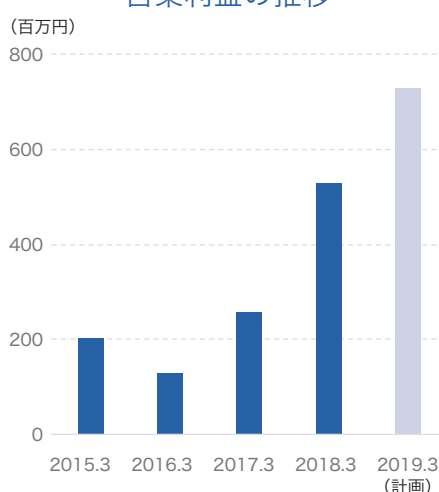
今期も、当社の持つ最先端の技術力と事業推進力を活かし、更なるシェア拡大と新規事業の開発に注力してまいります。

当社では、売上・売上高総利益・EBITDAの3指標を安定的に年率30%成長させることを目指します。

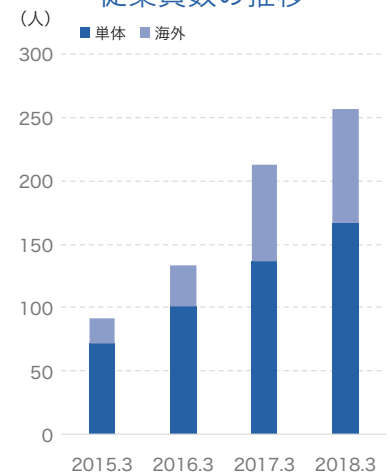
売上高の推移



営業利益の推移



従業員数の推移



会社概要

(2018年3月末現在)

商号	株式会社ジーニー
所在地	東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル25F
設立	2010年4月14日
資本金	1,519百万円
従業員数	257名（単体 167名、海外 90名）
役員 (2018年6月27日現在)	代表取締役社長 工藤 智昭 取締役 廣瀬 寛 仁木 勝雅（社外） 藤平 大輔（社外） 那珂 通雅（社外） 取締役（監査等委員） 鳥谷 克幸（常勤、社外） 轟 幸夫（社外） 後藤 文明（社外）
グループ会社	Geniee International Pte., Ltd.（シンガポール） Geniee Vietnam Co., Ltd.（ベトナム） PT. Geniee Technology Indonesia（インドネシア） Geniee Adtechnology (Thailand) Co., Ltd.（タイ） PT. Adstars Media Pariwara（インドネシア）

株式の状況

(2018年3月末現在)

発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式数	17,508,200株
株主数	3,556名

大株主

株主名	所有株式数（株）	持株比率（%）
工藤 智昭（当社代表取締役社長）	6,540,000	37.35
ソフトバンクグループインターナショナル合同会社	5,625,000	32.12
吉村 卓也（当社事業本部長）	670,000	3.82
廣瀬 寛（当社取締役）	655,000	3.74
トランス・コスモス株式会社	495,000	2.82
NICE SATISFY LIMITED	402,000	2.29
AT-I投資事業有限責任組合	378,200	2.16
Fenox Venture Company IX, L.P.	258,000	1.47
アンカー・アドバイザーズTMT3号投資事業有限責任組合	219,000	1.25
YJ1号投資事業組合	120,000	0.68

所有者別株式分布状況

